



2023年6月30日  
株式会社名古屋銀行  
株式会社静岡銀行

## 「静岡・名古屋アライアンスファンド」の設立について

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）と静岡銀行（頭取 八木 稔）は、「静岡・名古屋アライアンス」の一環として、お取引先の課題解決を通じた地域産業の活性化ならびに雇用の維持や機会の創出を目的として、共同で「静岡・名古屋アライアンスファンド」を設立しますので、その概要をご案内します。

### 1. ファンドの概要

- (1) 設 立 日 / 2023年6月30日（金）
- (2) ファンド名 / 静岡・名古屋アライアンス投資事業有限責任組合
- (3) ファンド総額 / 5億円
- (4) 出資者
  - 有限責任組合員（LP） / 名古屋銀行、静岡銀行
  - 無限責任組合員（GP） / 名古屋キャピタルパートナーズ、静岡キャピタル
- (5) 投資対象
  - 愛知県、静岡県に集積する二輪・四輪関連事業者で、「脱炭素化」「EV化」の急速な進展にともない、ビジネスモデルの変更など事業の変革に取り組む中小企業等
  - 愛知県、静岡県において多数の取引先企業や地域雇用を抱える事業者で事業構造の変革に取り組む中小企業等
- (6) 存続期間 / 7年6カ月（最大2年間の延長可能）

### 2. 設立の背景、目的など

- 愛知、静岡の両県は、他県に比べて製造品出荷額の比重が高く、なかでも輸送用機械の占める割合が多いという共通の特徴があります。  
とくに、自動車産業では、脱炭素化、EV化がもたらす「100年に1度の大変革期」を迎えており、両行では、これまでも関連会社や外部の提携機関と連携しながら、お取引先のビジネスモデルの変革など経営課題の解決に取り組んできました。
- こうしたなか、両行およびグループ会社が保有するノウハウを活用し、営業エリアを跨いでお取引先の経営課題の解決への支援体制を強化するため、共同ファンドを設立することとなりました。
- 今後も、両行およびグループ会社の充実したネットワークと機能を活用しながら、地域企業の課題解決に向けた新たな取り組みを積極的に展開していきます。